

教科の先生よりコメント（3年）

家庭学習のアドバイスです。課題に取り組むときに参考にしてください。

教科	コメント
国語	<p>今回までの課題は漢字の練習が中心でした。ワークもプリントも、これまでにやっているものと同じ形式なので、やり方で戸惑うことはなかったと思います。</p> <p>しかし、読み方を全て書いていなかったり、意味調べをやっていなかったりといった人が何人かいたので、一つひとつを丁寧に、根気よく取り組めるようにしましょう。</p>
社会	<p>新聞、4コマ漫画、かるたは工夫を凝らした作品が多く、非常によく書けていました。（ただし新聞は2枚提出なのが1枚提出の人が複数人いました。該当者は次回提出してください）出来事まとめの課題内容は基礎知識であり、年表は、「歴史の流れ」を理解するうえで非常に大切な内容です。わからないことをわからないままにせず、繰り返し学習を進め、歴史知識を自分のものにできるように頑張りましょう。</p>
数学	<p>ワーク課題では、まだ授業で学習していない範囲の確率の問題でしたが、自分なりに課題に取り組む姿勢が見られました。考え方や取り組み方がしっかりと書ける人が増えてきました。</p> <p>2年次の復習課題では、一つ一つ丁寧に取り組んでいる人がとても多かったです。</p> <p>レポート課題では、テーマ設定に苦労している様子が見受けられました。その中でもとても面白い着眼点でテーマ設定をし、研究している人もいました。</p> <p>6月1日までの課題は3年生の内容の予習になります。教科書を良く読みノートにまとめて練習問題にチャレンジしてください。</p> <p>授業が出来ない日々が続きますが、ぜひ身の回りにある現象を数学的に見て考えてみてください。それが数学を学ぶ一番の方法です。そしてそれが面白さです。今できることを精一杯に頑張りましょう。</p>
理科	<p>おおむねよく取り組むことができていました。図をきちんと写して、ていねいに取り組んでいる人が多かったです。一方、レポート（ノート）に名前を記入し忘れていた人がいました。未提出と同じ扱いになってしまいますので、心当たりがある人は、教科担任または担任に申し出てください。紙を受け取り名前を書いて、再提出をお願いします。問題はていねいに取り組むと力がつきます。1問1問時間を使って、しっかり取り組みましょう。</p>
英語	<p>やはり3年生、提出はちゃんとできる人がほとんどです。先生は確認をして返します。それからが大切。内容は復習なので次を本気でやること。</p> <p>①もう一度1枚1枚内容を読み直す ②理解ができているか確認する ③もう一度問題を解いてみる ④まだ理解が不十分なところはきいてわかるようにする</p>
音楽	<p>全体にはきちんと提出をしています。教科書や鑑賞資料集をまとめるだけでもA4のプリント枚分のレポートはできます。が、それ以上に色々調べてまとめたり写真やイラストを入れたレポートも多くありました。レポートの最後には自分の感想がきちんと入ったものも1・2年生の時よりも多くなりました。まだ、提出していない人は早く出しましょう。引き続きARの練習はしてください。</p>
美術	<p>全体的にしっかりと提出できています。社会問題をテーマにすることは、とても難しいイメージがあると思いますが、皆さんの身近な生活に直結していることです。絵にする前に、まずはしっかりとその問題について調べることが大切です。ネットのニュース記事でも構いません。地球温暖化はどうして起こるのか？何がいけないのか？自分はこう考える、など自分の切り口を表現できると良いですね。まずは、詳しく知るために調べましょう。</p>
体育	<p>5月11・12日に配布した新体カテストプリントについては、実技の教科書p30. 31を見て丸付けまでして提出です。丸付けを忘れないように注意してください。教科書の問題については、各ページの内容を確認しながら、確認問題などに取り組みましょう。教科書に載っている解答をみて丸付けまでしておきましょう。教科書の問題については、提出の必要はありません。</p>
技術	<p>電流の計算の出来が非常によかったです。単位や計算方法を間違えて覚えてしまっている人はしっかり復習をしておきましょう。また製図の課題は、とても惜しい間違いをしている人が多くいました。新しい課題でも製図を出しました。前回のプリントを参考にもう一度取り組んでみましょう。</p>
家庭	<p>環境アクションプランについて、皆さんよく取り組めていました。レポートを書くときのポイントとして、より「具体的に」自分の考えを書くことを意識してみましょ。また、自分の幼い頃については、中々思い出せない部分もあったのではないかと思います。自宅にいる時間が多い今、家の人と話したり、昔自分が使っていたものを観察したりして、幼い頃を振り返ってみましょう。</p>